



ごあいさつ

アジア経済ジャーナル第100号の発刊を記念してご挨拶申し上げます。

本誌は、当センターの前身である環日本海貿易交流センターと日本貿易振興会（現ジェトロ）との連携の下に、環日本海地域における貿易と投資に関する情報を提供し、経済促進の一助とするため、平成5年に「環日本海貿易ジャーナル」として創刊されました。その後、環日本海経済交流センターとして、（公財）富山県新世紀産業機構の一部門となったことにより、平成17年の第65号から「環日本海経済ジャーナル」に、さらに近年の東南アジアなどへのビジネス展開を図る富山県企業の増加を背景にセンター名称を変更（アジア経済交流センター）したことに伴い、平成31年の第99号から現在の「アジア経済ジャーナル」に改称いたしました。

日本国内においては、人口減少に伴う市場の飽和や労働人口の不足といった産業を取り巻く環境は大きく変化し続けています。一方、世界経済のグローバル化の進展に伴い、中国をはじめとするアジア諸国の成長は著しく、こうした海外需要の取り込みを見据えながら、本県内の生産拠点を維持・安定させるだけでなく、積極的に海外展開を図り、成長する海外市場とつながりを持つ重要性はより一層増大してきています。

当センターにおいても、環日本海諸国のみならず、ASEANやインドを視野に入れた事業展開を図るという趣旨で、平成30年4月に「環日本海経済交流センター」から「アジア経済交流センター」に名称変更したところであります。海外バイヤー招へいや国際見本市への出展サポート、海外ミッションの派遣などの事業実施とともに、このアジア経済ジャーナルを通して、これからも世界に羽ばたく富山県企業の皆様を支援するため、アドバイザーや有識者などによるアジア地域についての最新ビジネス情報の発信に努めて参る所存であります。

公益財団法人富山県新世紀産業機構

アジア経済交流センター長

鎌田 慶昭



1993年(創刊号)



2005年5月(No.65)



2019年3月(No.99)